

次期「関西広域救急医療連携計画(中間案)」
の概要について

平成29年12月9日
関西広域連合 広域医療局

現行計画 (H27～H29)	①ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実 ②災害時における広域医療体制の充実 ③広域医療連携体制の充実	次期計画 (H30～H32)	①広域救急医療体制の充実 ②災害時における広域医療体制の強化 ③課題解決に向けた広域医療体制の構築
-------------------	--	-------------------	---


基本理念 「安全・安心の“4次医療圏・関西”」の実現

将来像 「医療における安全・安心ネットワーク」が確立された関西

広域救急医療体制の充実

府県域を越えたドクターヘリの運航

- ①「鳥取県ドクターヘリ」H29年度末運航開始
- ②7機体制への移行による「30分以内での救急医療提供体制」の更なる拡充
- ③中四国地方をはじめ近隣地域のドクヘリとの連携構築
- ◆搭乗人材の養成
- ◆ランデブーポイントの充実
- ④「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」の開催



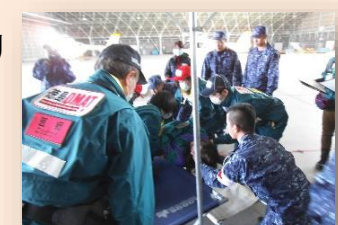
周産期医療連携体制の充実

- ◆周産期の緊急医療に係る広域連携体制の強化

災害時における広域医療体制の強化

「南海トラフ巨大地震」「近畿圏直下型地震」に備えて

- ◆災害医療コーディネーターの養成
- ◆各構成府県の「DMAT」やドクターヘリの参加による府県域を越えた災害医療訓練の実施
- ①被災地内外の情報を速やかに共有するための「情報伝達訓練」の実施
- ②「医療機関BCP」の策定促進
- ③「7機体制」による広域災害時のドクヘリ運航体制の再編・充実
- ◆薬剤・医療資機材の確保
- ◆「DPAT」先遣隊の整備・充実



課題解決に向けた広域医療体制の構築

依存症対策

- ①今日的な課題に対応するための先進的な取組事例等の情報共有
- ◆ギャンブル依存症 ◆アルコール依存症etc.



薬物乱用防止対策

- ◆知見・検査技術の向上を図るための合同研修会の開催



ICTを活用した次世代医療の導入促進

- ①次世代医療に関する先進事例の情報共有



広域医療連携に係る調査及び広報

- ◆高度医療専門分野における連携・情報発信
- ◆ジェネリック医薬品の普及促進・広報



■今後の主な取組

◆広域救急医療体制の充実

(1) 7機体制への移行による広域救急医療提供体制の更なる拡充

平成29年度末の「鳥取県ドクヘリ」導入に伴う「7機体制」への移行により、管内の広域救急医療提供体制の更なる充実を図る

・「鳥取県地域」、「兵庫県北西部」における広域救急搬送体制の拡充

⇒現在鳥取県地域も運航範囲とする「3府県ドクヘリ」との役割分担

⇒「京都府北部」、「兵庫県北部」にも、より手厚い運航体制の確保が可能

・全国一の運航回数
・3府県にまたがる
運航エリア

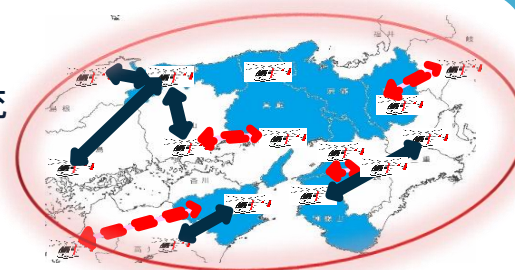


(2) 近隣地域のドクヘリとの連携構築

連合管内全域を複数のドクターヘリが補完し合う「二重・三重のセーフティネット」を更に拡充するため、近隣地域との連携体制の構築を進める

・H29.6.5に締結した中国地方5県等とのドクターヘリ広域連携協定の更なる拡充

・愛媛県ドクヘリや奈良県ドクヘリ、岐阜県ドクヘリ等との相互応援協定の締結



(3) 基地病院間の交流によるドクターヘリの連携強化及び搭乗人材のスキルアップ

平成29年度より新たに実施する「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」の継続的な開催及び内容の充実を図り、連合内のドクターヘリの平時及び災害時の連携強化、フライトドクター・ナースのスキルアップを支援

・各基地病院のフライトドクター・ナースが一堂に会し、特色ある取組や症例等についての発表・意見交換を実施

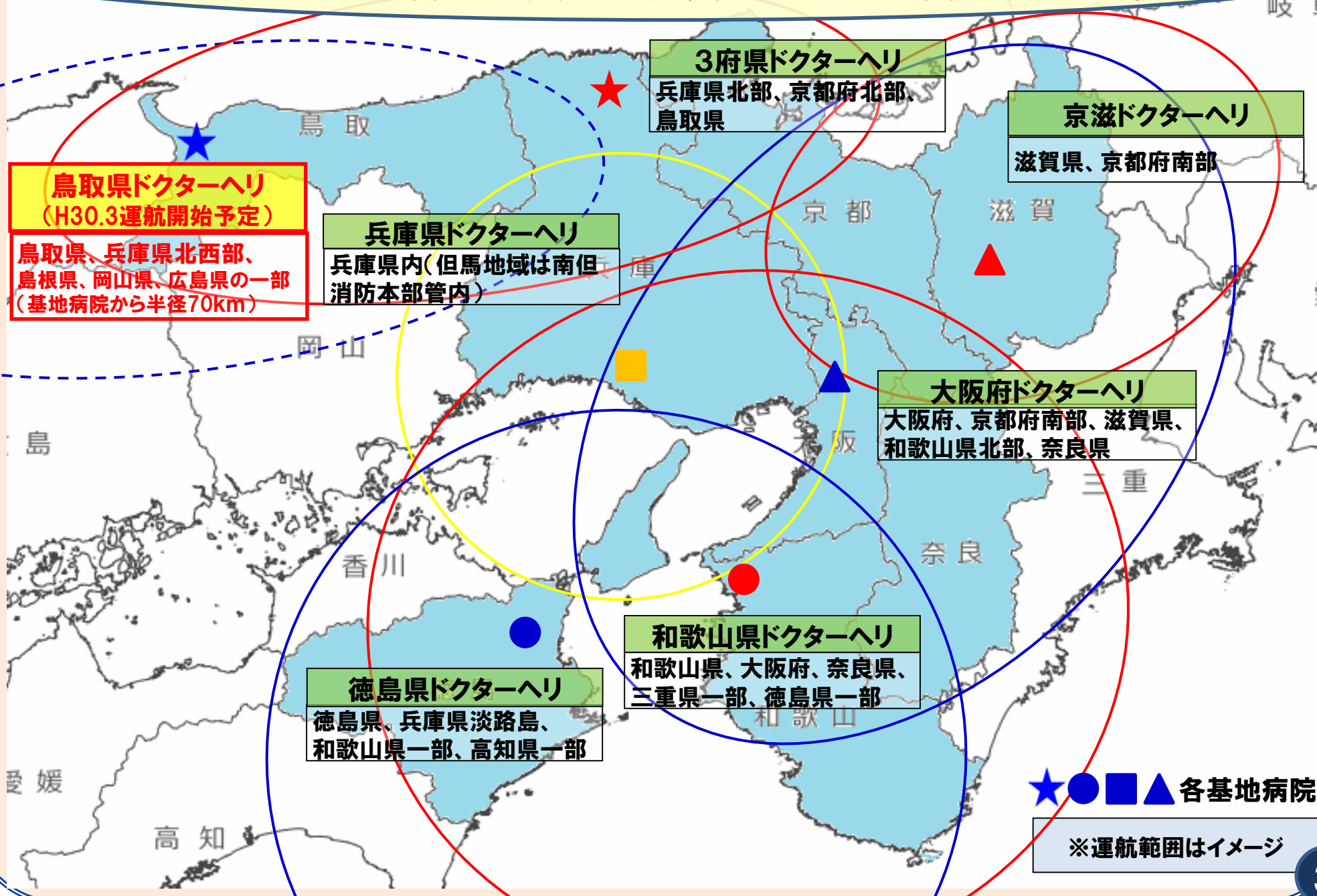
(4) 周産期の緊急医療に係る広域連携体制の強化

関西広域連合に事務局を移管した「近畿ブロック周産期医療広域連携検討会」において、緊急母体搬送等を円滑に確保できる広域連携体制構築の取組を継続するとともに、災害時の対応等、課題の情報共有や意見交換を実施

関西広域連合ドクターヘリの新たな運航体制について

「7機体制」移行後の新たな広域運航体制について検討

⇒管内の救急医療体制の充実と災害規模に応じたより柔軟な被災地支援



◆災害時における広域医療体制の強化

(1) 府県域を越えた災害医療訓練の実施

大規模広域災害発生時の円滑な医療救護活動に必要な、構成団体の広域調整機能の向上を目的として、各構成府県のDMATやドクヘリが広域的な災害医療関連の訓練に合同で参加

- ・大規模地震時医療活動訓練(内閣府主催)
- ・近畿地方DMATブロック訓練
- ・近畿府県合同防災訓練 etc.



鳥取県ドクヘリの導入を踏まえ、
更なる広域連携訓練や他機関
ヘリとの連携訓練も検討



(2) 構成団体合同による情報伝達訓練の実施

被災地での迅速・適切な医療提供に必要な、医療機関の稼働状況や傷病者の情報を速やかに収集するため、衛星携帯電話の通信訓練や「広域災害救急医療情報システム」(EMIS)の入力訓練を構成団体合同で実施

※広域災害救急医療情報システム… 都道府県域を越えて医療機関の稼働状況等の災害医療関連情報を共有し、迅速な医療・救護に資することを目的とした国運営のシステム(全都道府県及び大半の病院が接続)

(3) 「医療機関BCP」の策定促進

熊本地震を契機に重要性が再認識された「医療機関BCP」について、発災後の早期かつ円滑な診療機能回復を図るため、先進事例や策定状況等の情報共有のための会議を開催するなどして策定を促進

※「災害拠点病院」においては、「平成30年度末」までの策定が義務づけ

研修会等の実施



(4) 「7機体制」による広域災害時のドクヘリ運航体制の再編・充実

鳥取ドクヘリ導入による連合「7機体制」移行に伴い、大規模災害発生時に管内の「守り」を“半減させない”被災地支援をはじめ、被災規模や管内状況に応じた柔軟かつ効果的な運航体制を構築

(5) 「DPAT先遣隊」の整備・充実

災害発生時の被災地における精神的ケア等の精神保健医療ニーズに対応する「DPAT」について、特に発災後48時間以内に被災地に入り、ニーズアセスメント等の役割を担う「DPAT先遣隊」を全ての構成府県で整備

◆課題解決に向けた広域医療体制の構築

(1) 依存症対策

「ギャンブル依存症」や「アルコール依存症」等の近年、そして今後の大きな社会・健康問題となることが危惧される依存症への対策として、構成団体間の連携体制を構築し、先進的な取組や関係機関との連携強化の事例について情報を共有

連絡会議等の開催



(2) 薬物乱用防止対策

流通ルートの潜在化・巧妙化など、依然警戒が必要な「危険ドラッグ」について、効果的な乱用防止対策の事例共有を図るとともに、新たな課題・事案にも的確に対応するため、知見・検査技術の向上を目的とした危険ドラッグ等合同研修会を開催

合同研修会の実施



(3) ICTを活用した次世代医療の導入促進

大学病院等を中心に取り組んでいる遠隔画像診断等の遠隔医療等をはじめとする次世代医療の導入を促進するため、連合管内の先進事例について情報を共有するとともに、AI、IoTを利用した健康・医療ビッグデータの活用など、「関西健康・医療創生会議」の取組について、他の分野事務局等と連携して推進

遠隔画像診断（例）



(4) 広域医療連携に係る調査及び広報

- ・連合管内における医療資源を最大限に活用し、先進医療が受けられる医療機関の情報等、「高度医療専門分野」に関する情報を効果的に発信
- ・「ジェネリック医薬品」の普及促進のため、構成府県間の先進事例の共有、連携した広報等を実施

「安全・安心の“4次医療圏・関西”」の実現へ！